

宇陀市人権協だよ

宇陀市人権セミナーから（今年度のセミナーを終えました）

○第3回人権セミナーは、9月15日（土）午後、宇陀市農林会館で行いました。開講あいさつに続き、講師にお迎えした、奈良県社会福祉協議会の福沢俊彦さんより、「子どもの貧困と地域づくり・支援のあり方 ～子どもの学習支援と居場所づくりを通して～」という演題で講義いただき、研修を深めました。冒頭、なぜ子どもの貧困なのか、現在の社会状況において、「いまどき貧困なんて」ととらえている人が多いのではないかとすることにふれ、問題意識をもち、現状をみていくことが大事であると話されました。また、日本の特徴として、失業率は低いが就労しているにもかかわらず、貧困率が高くなっていること（ワーキングプア）や一人親家庭の貧困率が高く（とりわけ母子家庭）、教育に対する公共投資が困難な状況にあることなどが示されました。さらに、母子家庭の場合、非正規雇用の就業率が57.0%と高い現状にあり、子どもの進学率にもその影響がみてとれること、増え続ける教育費により、教育の機会均等が奪われ、スタートの段階で不平等が生じていること、夢と希望と意欲が失われ、家庭での教育環境が整わず、文化的教育的投資が得られない状況で、低学力に陥っていく現状があり、貧困の連鎖・悪循環という課題も大きいことなどが伝えられました。



こうした現状を見据え、貧困の連鎖を断ち切っていくために、子どもの学習支援と居場所づくり、子ども食堂、お寺おやつクラブ、フードバンク、教育福祉連携、スクールソーシャルワーカー、地域連携などの活動を進め、生活困窮者自立支援法、子どもの貧困対策推進法の施行や奈良県子どもの心と学びのサポート事業などにより、地域型学習支援・居場所づくりが始まっていることなどが紹介されました。最後に、あたたかいまなざしから始まるまちづくりが大切であることにふれ、学習を終えました。



参加者アンケートより（一部紹介）

- ・演題の現状を再認識した。支援されている方々のご苦勞に頭が下がる思いがした。今後地域のかかわりが重要である。
- ・豊かな実践をふまえた具体的な事例を話されたので、わかりやすかった。地域づくりに生かしたい。
- ・自分の孫も学童保育で世話になっており、居場所の提供や学習支援を受けている。学生の方々がボランティアで協力されているが、私たちが何かお手伝いできないことがないか教えてほしい。
- ・子どもの貧困状況がよくわかった。意義あるセミナーになった。
- ・知識として理解できたつもりであるが、実践となるとその一歩が難しいと感じる。「地域の関わり、地域がベース」となる意味の大切さ、これからの地域づくりに参考になった。

○今年度最終の第4回の人権セミナーは、11月10日（土）午前、奈良県立同和問題関係史料センター所長の奥本武裕さんを講師にお迎えし、宇陀市役所での講話と周辺の人権・歴史スポットを巡るフィールドワークという内容で実施しました。最初に役所内の会議室に集まり、講師より約20分間の講話を聴きました。まず、史料センターの活動や役割についてふれられました。県教育委員会が、県内各地の同和問題に関する歴史資料の調査・研究を進め、その成果をもとに「部落史の見直し」を提起し、同和問題の解決をめざす取組みを進めてきたことが伝えられました。史料センターは、「部落史の見直し」をさらに深めていくために、平成5年（1993年）12月に設置され、本年は開所25周年の節目を迎え、記念事業を計画していることなどが紹介されました。つづいて、リーフレットを参照しながら、「部落史の見直し」に関する内容についてふれ、この取組みに伴い、子どもたちが学ぶ教科書も変わってきていることなどが説明されました。また、「部落差別解消推進法」の意義や部落差別と地域社会との関係などについても解説されました。



講話のあと、市役所を出て、約80分間にわたって、周辺地域のフィールドワークを行いました。天候にも恵まれ、それぞれの見学スポットで、講師より説明を受けながら、徒歩にて巡りました。巡回コースは、①宇陀川旧流路の痕跡 ⇒ ②宇陀川分水工事跡 ⇒ ③近鉄榛原駅 ⇒ ④新町 ⇒ ⑤榛原空襲痕跡 ⇒ ⑥伊勢街道分岐点・あぶらや ⇒ ⑦恵比寿神社 ⇒ ⑧墨坂神社 とたどりましました。日頃見慣れている街並みやそれぞれの場所で、改めて歴史的な背景をうかがい、新鮮な気分になるとともに、認識を新たにすることができました。そのあと、市役所に戻り、質疑応答及びまとめを行って研修を終えました。

講話のあと、市役所を出て、約80分間にわたって、周辺地域のフィールドワークを行いました。天候にも恵まれ、それぞれの見学スポットで、講師より説明を受けながら、徒歩にて巡りました。巡回コースは、①宇陀川旧流路の痕跡 ⇒ ②宇陀川分水工事跡 ⇒ ③近鉄榛原駅 ⇒ ④新町 ⇒ ⑤榛原空襲痕跡 ⇒ ⑥伊勢街道分岐点・あぶらや ⇒ ⑦恵比寿神社 ⇒ ⑧墨坂神社 とたどりましました。日頃見慣れている街並みやそれぞれの場所で、改めて歴史的な背景をうかがい、新鮮な気分になるとともに、認識を新たにすることができました。そのあと、市役所に戻り、質疑応答及びまとめを行って研修を終えました。



新鮮な気分になるとともに、認識を新たにすることができました。そのあと、市役所に戻り、質疑応答及びまとめを行って研修を終えました。

榛原空襲痕跡

あぶらや

恵比寿神社

参加者アンケートより（一部紹介）

- ・初めての体験学習で、その場所で説明を聞かせていただき、当時の時代背景等がよくわかった。新鮮であった。改めて、宇陀の歴史の一部を見させてもらった。 ・機会があれば再度勉強したい。
- ・地元で知らないこともたくさんあった。これを機に各地の人権スポットを探してみたい。
- ・地元に住みながら、詳しくは分からなかったスポットを説明していただき、よい研修ができた。
- ・他の地区についても同様の内容で開催願いたい。 ・次年度も人権スポット見学を入れてほしい。
- ・「あぶらや」など人権スポットで知らなかった多くの新発見をさせていただいた。
- ・今回人権セミナーを受講するまでは、人権等について深く考えていなかったが、受講して色々と学び、地域の中に存在する様々な課題に気づいた。 ・身近なスポットを巡って興味深かった。再発見もあった。
- ・宇陀に住んで15年、駅周辺に車では来るが、歩いて巡るのは初めてで、よい勉強になった。

当面の事業・研修の予定

- 12月 8日（土）宇陀市男女共同参画集会 13:30～ 於、榛原総合センター（たくさんのご参加を）
- 12月10日（月）第52回 奈良県人権教育推進協議会 人権問題講演会 13:30～於、新庄マルベリーホール（各地区参加要請者）
- 12月15日（土）第45回 奈良県 人権・部落解放研究集会（9月30日の延期開催） 9:00～ 於、宇陀市文化会館ほか
- 2019年 ➡ （参加要請にもとづく各地区人推協・人推委関係者 役員・事務局 行政職員 参加予定）
- 1月 8日（火）奈人推協「新年のつどい」及び理事・事務局長合同会議 13:30～ 於、奈良県産業会館（会長・事務局）
- 1月23日（水）奈人推協 ブロック別研修会 13:30～ 於、田原本町青垣生涯学習センター（各地区参加要請者）
- 2月22日（金）市人推協 第3回役員会 19:30～ 於、宇陀市役所 （役員・事務局）

発行責任者 宇陀市人権教育推進協議会事務局 中西 康典